

LBメディアロック3

メディアやハードディスクに鍵をかける

クイックガイド

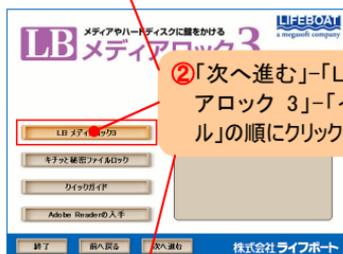
このクイックガイドでは『LB メディアロック 3』の簡単な使用方法について説明します。

1. LB メディアロック 3 のインストール
2. 秘密領域の作成と使用方法
3. 他の PC 上で秘密領域を使用する
4. ファイルとフォルダの暗号化

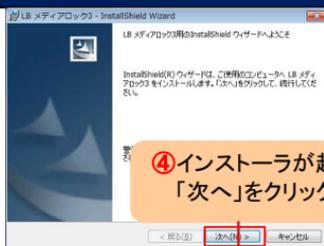
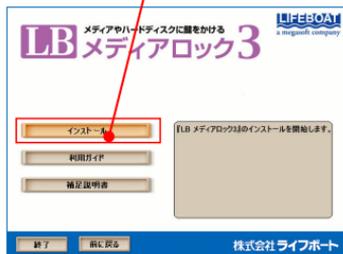
1. LB メディアロック 3 のインストール



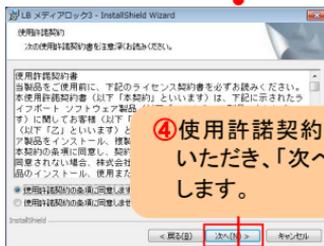
① CD-ROM を挿入するとメニューが起動します。



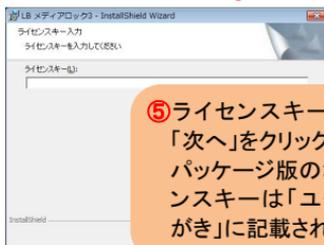
② 「次へ進む」-「LB メディアロック 3」-「インストール」の順にクリックします。



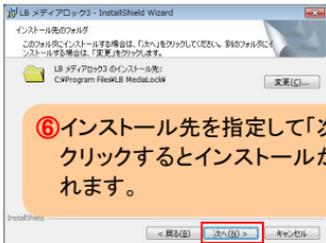
④ インストーラが起動します。「次へ」をクリックします。



④ 使用許諾契約に同意していただき、「次へ」をクリックします。



⑤ ライセンスキーを入力して「次へ」をクリックします。パッケージ版の場合、ライセンスキーは「ユーザ登録はがき」に記載されています。



⑥ インストール先を指定して「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。



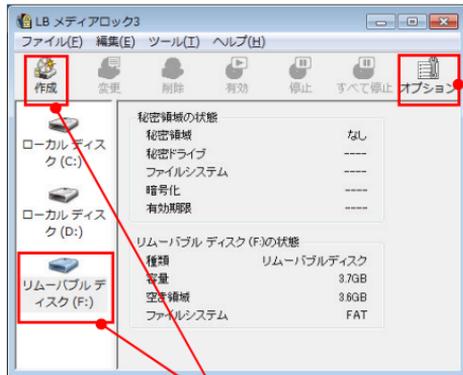
⑧ 「完了」をクリックします。コンピュータを再起動してインストールを完了します。



⑦ デバイスソフトウェアをインストールするためのセキュリティの警告メッセージが表示される場合、「インストール」をクリックします。

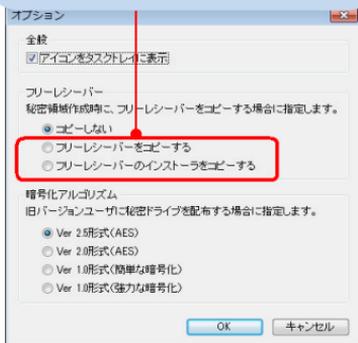
2. 秘密領域の作成と使用方法

スタートメニューから「すべてのプログラム」-「LB メディアロック 3」-「LB メディアロック ユーティリティ」を選択すると「ユーティリティ」が起動します。



① 秘密領域を作成するドライブを選んで、「作成」をクリックします。

※『LB メディアロック 3』がインストールされていないパソコン上からも秘密領域を使用したい場合は、最初に「オプション」でフリーレーサーをコピーするよう設定した後に「作成」をクリックします。



- ② 秘密領域の「容量」を指定、「パスワード」を入力して「OK」をクリックします。

秘密領域の作成

秘密領域

Fドライブに作成する秘密領域の容量を入力してください。

容量 1MB 463MB

128 MB 空き容量全部

秘密領域を作成する前に、すべてのファイルを削除する

秘密ドライブ

秘密領域をドライブとして使うためのパスワードを入力します。

パスワード ●●●●●●●●

パスワード確認 ●●●●●●●●

ドライブレター 自動

Windowsの起動時に、この秘密領域を有効にする

連続で間違ったパスワードを入力すると、秘密領域を破壊する

3 回で破壊します

暗号鍵長 256bit

有効期限 2010/03/25

OK キャンセル

- ③ 秘密領域の作成が開始されます。作成の所要時間はメディアの種類や秘密領域のサイズにより異なります。

秘密領域の作成

Fドライブに秘密領域を作成中です...

75/128MB

キャンセル

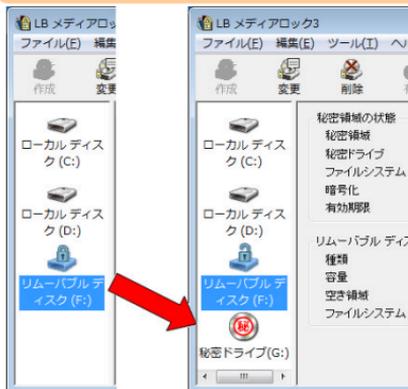
- ④ 秘密領域作成完了のメッセージが表示され、秘密領域が有効になります。

秘密領域の作成

Eドライブに秘密領域(128MB)の作成が完了しました。秘密ドライブとしてGドライブを有効にしました。

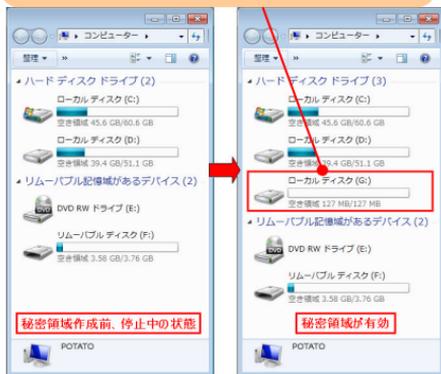
OK

- ⑤ 有効となった秘密領域が、秘密ドライブ「G」として、ユーティリティ上に表示されます。

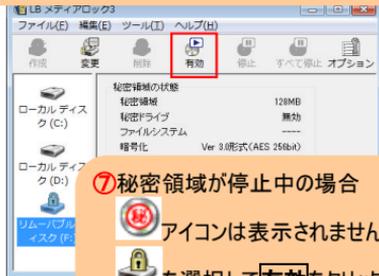


※ユーティリティ上からアイコンをクリックしてもドライブを操作することはできません。

- ⑥ エクスプローラ上に秘密ドライブ「G」が表示され、他のドライブと同様に操作できます。



⑥データの読み書きが終了したら**停止**または**すべて停止**で秘密領域を停止します。
パスワードを入力して秘密領域を再度有効にしない限り、保存されたデータにアクセスすることはできません。秘密領域を再度有効にするためには**有効**をクリックします。



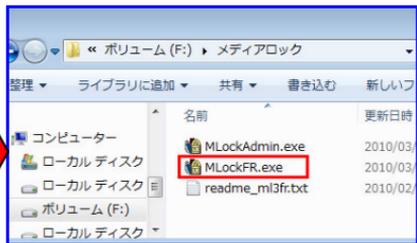
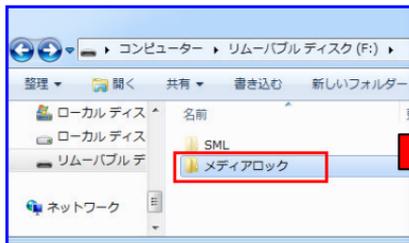
⑦秘密領域が停止中の場合
 アイコンは表示されません。
 を選択して**有効**をクリックすると秘密領域が有効になります。

3. 他の PC 上で秘密領域を使用する

USB フラッシュメモリ等に作成した秘密領域を『LB メディアロック 3』がインストールされていないコンピュータ上から使用するためには『LB メディアロック 3 フリーレーサー』を使用します。

- ※管理者権限でコンピュータにログオンしておく必要があります。
- ※制限ユーザでフリーレーサーを使用する場合、インストーラ形式のフリーレーサーを使用することができますが、インストール時には管理者権限が必要となります(利用ガイド P41 参照)

①フリーレーサーを起動します。
F:*メディアロック\MLockFR.exe を実行します (F:* に秘密領域を作成した場合)。
 インストーラ形式のフリーレーサーは
F:*メディアロック\install_ml3fr.exe を実行するとインストールを開始します。

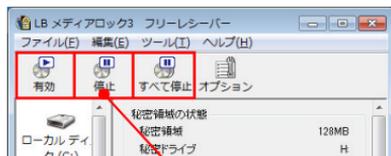


- ②フリーレシーバーのユーティリティ画面(操作画面)と操作方法は『LB メディアロック 3』本体とほぼ共通です。



- ③秘密領域が存在するドライブを選択して「有効」をクリックします。

- ④パスワードを入力して「OK」をクリックすると秘密領域が有効になります。



- ※『LB メディアロック 3 フリーレシーバー』の機能は秘密領域の「認証」(有効、停止)と「編集」(秘密領域に保存されたデータの編集)のみです。

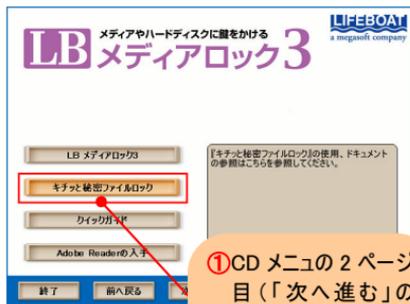
ステータスアイコンから秘密領域の状態を確認できます

パスワード	
	秘密領域が存在するドライブ(秘密領域は有効中) 現在有効になっている秘密領域が存在するドライブはこのアイコンが表示されます。
	秘密領域が存在するドライブ(秘密領域は停止中) 停止中の秘密領域が存在するドライブはこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウに秘密領域、ドライブの状態が表示されます。
	有効中の秘密領域(秘密ドライブ)※ 現在有効になっている秘密領域はこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウに秘密領域の状態が表示されます。
	秘密領域が存在しないドライブ 秘密領域の存在しないドライブはこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウにドライブの状態が表示されます。

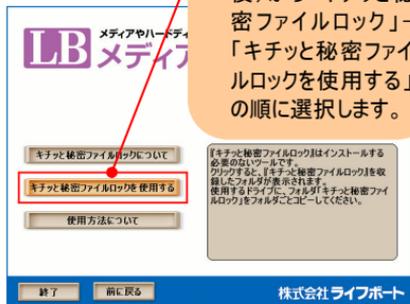
※秘密領域内のデータ操作(ファイル/フォルダの読み書き)はマイコンピュータ/エクスプローラから行います。

4. ファイルとフォルダの暗号化(キチットと秘密ファイルロック)

『キチットと秘密ファイルロック』はインストールする必要なくファイル単位、フォルダ単位の暗号化をすることができるソフトウェアです。

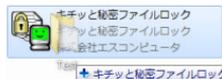


① CD メニューの 2 ページ目(「次へ進む」の後)から「キチットと秘密ファイルロック」-「キチットと秘密ファイルロックを使用する」の順に選択します。



② ファイルマネージャーが起動します。「¥キチットと秘密ファイルロック」をフォルダごとメディアへコピーします。

暗号化



① 暗号化したいファイル/フォルダを「キチットと秘密ファイルロック」のアイコンにドラッグ & ドロップします。

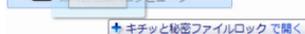


② パスワードを設定して「OK」をクリックすると、暗号化の処理が実行され、指定先に暗号化されたファイル「元のファイル名+.lock」が出力されます。

復号化



① 暗号化されたファイルを、「キチットと秘密ファイルロック」のアイコンにドラッグ & ドロップします。



② パスワードを入力して「OK」をクリックします。



設定



アイコンをダブルクリックすると、ファイルの出力先他、詳細な設定をすることができます。